

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年1月15日～1月21日)

2020年1月22日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領、政府高官の人事任命(国家安全保障会議国家書記, 国防大臣)(1/20)
- カラエフ内務大臣, 徳永博基駐ベラルーシ日本大使と会談(1/20)
- ベラルーシ, ノルウェーから8万トンの石油を購入(1/20)

## 内政・外交

### 【ルカシェンコ大統領動静】

#### ●石油製品輸出版売効率化に関する会議(1/21)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ベラルーシにとって, ロシアの石油供給に対する完全な代替手段はない。しかし, 我々は供給元を多様化する必要がある。
- ・30%はウクライナにより実証されている経路がある。ロシアが同意すればカザフスタンからも供給を得ることができる。
- ・経済状況は複雑化している。ロシアの石油税により, ベラルーシの予算収入は必然的に減少している。石油精製企業の業績は悪化している。

(1/21 大統領府公式ホームページ)

#### ●ロゴジン・露国営ロスコスモス社長と会談(1/21)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・宇宙開発分野におけるロシアとベラルーシの協力を検討する。ロスコスモス社のプロジェクトは巨大であり, 我々も参画を考えている。
- ・ベラルーシは, ハイテク分野の発展に尽力している。ベラルーシは天然資源に恵まれず, ハイテク分野の優先度は1番である。ベラルーシは, 人々の頭と手, 彼らの能力と専門的スキルをもってお金を稼いでいる。
- ・この分野におけるロシアとベラルーシの協力のための良い基礎がある。ベラルーシは, ロシアのパートナーからの提案を議論する用意がある。

ロゴジン社長の発言要旨は以下の通り。

- ・宇宙分野における二国間の協力は上手くいって

る。我々は, ベラルーシ共和国科学アカデミーや各企業と相互協力している。

(1/21 大統領府公式ホームページ)

#### ●政府高官の人事任命(1/20)

ルカシェンコ大統領は以下の政府高官の人事を決定した。

- ・国家安全保障会議国家書記: アンドレイ・ラフコフ(前国防大臣)
  - ・国防大臣: ヴィクトル・フレイン(前西部作戦司令官)
- (1/20 大統領府公式ホームページ)

#### ●カリンシュ・ラトビア首相と会談(1/16)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ラトビアの首都が私にとってそうであるように, あなた(「カ」氏)にとってミンスクが外国の都市ではないことを願っている。ソ連時代, 両国の経済的結びつきは強かったが, 近年失われている。
- ・他のバルト諸国と異なり, 両国の協力は良好である。この機運を活用し, 真剣に協力を拡大していく必要がある。
- ・ラトビアに訪問する用意がある。招待していただき大変感謝している。私は, 今回のあなたのミンスク訪問を, 私がリガに訪問する際に署名するであろう合意文書の真剣な前準備と見なしている。

カリンシュ首相の発言要旨は以下の通り。

- ・独立し, 安定し, 繁栄したベラルーシを見ることが重要である。
- ・ルカシェンコ大統領のリガ訪問においては, 経済協

力についても協議できるように、財界の代表もご同行  
いただきたい。

(1/16 大統領府公式ホームページ)

## 【内政】

### ●アンナ・カノパツカヤ氏、自身の専門に沿って就職。

カノパツカヤ前下院議員は、オーストリアの国際投資  
技術会社において東欧市場の代表を務める。同社は、  
エネルギー関連事業を行っており、カノパツカヤ氏は、  
法律問題について担当する。同氏の発言内容は以  
下の通り。

・本業に加え、政治活動も行っていく。私が政治に携  
わるのは、経済改革をし、我々の国を助ける法律を  
前進させるためである。

・政治活動は、趣味ではなく、非常に大きな仕事であ  
り、多くの時間が必要となる。私は、首相や各省庁に  
対し、私とつながりを継続してくれていること、そして  
改革の必要性を理解してくれていることに感謝してい  
る。

(1/14 自由ニュースプラス)

## 【外交】

### ●カラエフ内務大臣、徳永博基駐ベラルーシ日本大 使と会談(1/20)

カラエフ内務大臣の発言要旨は以下の通り。

・ベラルーシ内務省は、治安に関わるあらゆる分野に  
おいて日本との協力発展に向けた用意がある。日本  
における対応省庁との直接的な接点を形成して頂け  
ると大変ありがたい。ぜひ、日本の国家公安委員会  
委員長にベラルーシに訪問いただきたい。

徳永大使の発言要旨は以下の通り。

・日本では、ベラルーシは、落ち着いて安全な国であ  
るといわれている。

・2020年4月に京都で開催される第14回国連犯罪  
防止刑事司法会議(京都 kongress)にぜひご参加い  
ただきたい。

### ●マケイ外務大臣、ハイジー・グラウ・三者コンタクト

## グループ特別代表と会談

両者は、2019年12月パリで開催されたノルマンディ  
ー・フォーマットやウクライナの和解問題に関し協議を  
行った。

(1/17 ベラパン通信)

### ●崔啓明駐ベラルーシ中国大使、ベラルーシにおけ る春節イベントに出席。

春節に際し、ベラルーシ国立フィルハーモニーにて中  
国江西省舞踊団がコンサートを開催し、崔大使が出  
席し、開会の言葉を述べた。崔大使の発言概要は以  
下の通り。

・中国とベラルーシの関係はあらゆる分野で集中的  
に発展している。

・ルカシェンコ・ベラルーシ大統領と習近平国家主席  
の友好関係によって、両国関係は深化しており、両国  
首脳は一帯一路の実現に特別な注意を払っている。

(1/17 ベルタ通信)

### ●ルマス首相、メゼンツェーフ駐ベラルーシ・ロシア 大使と電話会談(1/16)

両者は、ロシア新政府の体制を考慮し、二国間協力  
の問題を議論した。

(1/16 ベラパン通信)

## 【経済】

### 【対外経済】

### ●ベラルーシ、2019年鉄道コンテナ輸送量、中国向 けを中心に全体で2018年対比15%増加。

ベラルーシ鉄道は、コンテナ輸送に関しプレスリリ  
ースを行った。プレスリリースの概要は以下の通り。

・2019年のコンテナ輸送量は73万2,900本であり、  
前年対比15%増加。2019年、同社は、貨物施設の  
効率改善を目的とする複数の施策を実施しており、  
戦略的かつ有望な方向性として、コンテナ輸送の発  
展を検討している。

・ベラルーシ鉄道の2019年トランジット輸送コンテナ  
の取扱量は、50万本であり、昨年対比8.7%増加。50  
万本のうち、33万8千本は、中国～欧州～中国のト

ランジット輸送であり、同トランジット輸送は増加傾向であった。

・ベラルーシ鉄道は、2019年に、中国、ドイツ、カザフスタン、モンゴル、ポーランド、ロシア、ベラルーシの鉄道会社による7者協定の枠内における作業が積極的に進んだ。これら体系的な作業は、中国向け輸出货量拡大のための魅力的な条件の組成を目的としている。ベラルーシ企業のコンテナによる輸出货量は、2018年対比1.3倍に拡大し、9万7千本となった。中国向けに関しては1.5倍の増加であった。

・2019年に実施された具体的な案件としては、乳製品の中国向け輸出拡大、木材製品の重慶市へのコンテナ輸送である。またベラルーシ、ウクライナ、ルーマニアを介した木材産業に特化したコンテナ列車も編成された。

・ベラルーシとポーランドの国境検問所周辺の駅の処理能力改善に向けた取り組みも行っている。2019年にはブレスト・セーヴェルヌイ駅のコンテナターミナル近代化を完工し、コンテナ積み替え処理能力が1.5倍、コンテナ保管面積が2倍に増加した。

(1/19 ベラパン通信)

#### ●ベラルーシは、2019年1月～11月にかけて、2018年対比約2倍の電力を輸出

2019年1月～11月にかけてのベラルーシの電力輸出货量は21億3千万キロワット(=約1億1172万ドル)であった。2018年のベラルーシの電力輸出货量は14億キロワット(=5,463万ドル)であった。

(1/17 ベラパン通信)

●ベラルーシ、ノルウェーから8万トンの石油を購入  
同石油は、クライペダ港を経由しノヴォポロツクのナフタン工場に配送される。クルトイ第一副首相は、1月14日にポーランド、アゼルバイジャン、カザフスタン、ウクライナ、バルト諸国に対し、石油供給の申請を行い、専門家は日々交渉を行っている。

(1/20 NAVINY.BY)

#### ●国際エネルギー機関(IEA)は、ベラルーシ原子力

#### 発電所のインフラ状況評価の準備を実施予定。

1月14日～15日にかけてエネルギー省においてIEAのインフラ評価に関連するベラルーシ側の事前報告の確認が行われた。IEAによる実評価作業は2月24日から開始される予定。

(1/15 ベラパン通信)

#### 【国内経済】

#### ●ミンスク国際空港の2019年の利用者数、2018年対比12.5%増加。

2019年の同空港利用者数は510万人であり、2018年の450万人より12.5%増加した。なお、2018年は、2017年より10.3%増加している。

(1/17 ベラパン通信)

#### ●ベラルーシ・中国共同自動車工場「ベルジー」、2019年販売額は2億5千万ドル、利益率は5%。

ベルジー社は、2019年生産台数は20,151台であり、同年11月には、毎日120台生産できる体制になったと発表した。また、2020年には3万台を販売目標としていると公表した。

(1/16 ベラパン通信)

#### ●2019年、ベラルーシ国内工業生産は、2018年対比1%増加。

(1/16 ベラパン通信)

#### ●2019年、ベラルーシ国内農業生産量、2018年対比2.9%増加

(1/16 ベラパン通信)

#### ●2019年、ベラルーシGDP成長率1.2%

(1/16 ベラパン通信)

(了)